

令和3年10月伊勢原市教育委員会定例会会議 日程表

日時：令和3年10月26日(火)

午前9時30分～

場所：市役所3階 第2委員会室

開 会

議 事

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 教育長報告

日程第3 教育委員報告

日程第4 議案第25号 学校嘱託医の委嘱について

その他

閉 会

市議会9月定例会 教育委員会関連総括質疑の概要

【総括質疑】9月14日（火）

No.	質問議員	答弁の概要
1	舘 大樹 議員 (発言順位 1番)	令和2年度伊勢原市一般会計歳入歳出決算の認定について 3 歳出について (2) <u>公共施設等総合管理計画の改訂と学校施設個別施設計画案について</u> (教育総務課) [教育部長答弁] ●学区の再編について 本市の学校施設については老朽化が進行しており、学校施設に求められる機能・性能の確保に向け、計画的な維持管理や改修等が大きな課題となっています。 こうした中、少子化のさらなる進展により、中長期的には児童生徒数の大幅な減少や小規模校の増加が見込まれており、学校の小規模化に伴う諸課題が、これまで以上に顕在化することが懸念されています。 こうしたことから、将来にわたり本市小中学校における教育の公平性や教育水準の維持向上を図るため、今後、地域コミュニティの核施設としての学校の役割等にも留意しながら、学校の適正規模等のあり方に係る検討を行う中で、学区の再編について基本的な考え方を整理する必要があるものと考えます。
2	中山 真由美議員 (発言順位 3番)	1 総論 (2) <u>第5次総合計画中期戦略事業プランについて</u> (教育指導課) [市長答弁] 「外国語教育推進事業」では、小学校への外国語科の本格導入等に伴い、外国語指導助手の小学校への配置を拡充しました。生きた英語の音声に慣れ親しむ機会が増え、正確な発音の習得や主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る態度が養われていると聞いております。

3	川添 康大議員 (発言順位 4番)	4 歳出について（教育指導課） ＜再質問＞ 〔学校教育担当部長答弁〕 ●新型コロナウイルス感染症対策について（教育指導課） 新型コロナウイルス感染症拡大によるGIGAスクール構想の加速により、1人1台端末の環境整備を令和2年度末に完了し、今年度4月から各校において活用を進めているところです。 また拡大防止のための長期の臨時休業等の様々な事態に備え、端末の家庭での活用も見据え対応を進めているところで、家庭へのWi-Fi環境の調査を行い、今後の様々な事態に備え順次端末を持ち帰って実際に家庭での接続テストを行っております。1人1台端末については、今後も学校でのさらなる活用を図るとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための長期の臨時休業等の様々な事態が生じた場合であっても、児童生徒それぞれの状況に応じた学力向上の実現に向け、各校の状況や実態に応じた効果的な活用を図ってまいります。
---	----------------------	--

市議会 9 月定例会 教育委員会関連一般質問答弁の概要

【一般質問】 9 月 28 日（火）・29 日（水）・10 月 1 日（金）

No.	質問者	答弁の概要
1	中山真由美 議員 (1 日目 3 番)	発言の主題：2 生活困窮者及びネグレクト等に対する生理用品の支援について (1) 現状と課題、今後の取組について（学校教育課） 学校では、児童生徒が自分の健康管理や生活習慣を身につけてもらうために、生理用品は自分で用意することを基本としていますが、児童生徒が学校で急に必要になった場合に備え、生理用品等を保健室に備えており、教員に相談すれば、すぐに対応しています。 日頃から、生理用品の購入が難しい児童生徒や配慮が必要な家庭については、教員が目配り必要に応じて配慮や助言等を行っています。 学校のトイレに生理用品を備えた場合、児童生徒の体調の把握が難しくなることや本来の目的以外で使用されること等が懸念されます。 このことから、児童生徒と向き合いながら対応することで、児童生徒の困り感や体調の変化、家庭環境等を把握し見守るなど、小さなサインを見逃さないためにも、これまでどおり保健室での提供が望ましいと考えていますが、他市の状況を調査する等により調査研究を進めます。
2	今野 康敏 議員 (1 日目 5 番)	発言の主題：1 プッシュ型行政サービスについて (3) デジタル活用支援員について（社会教育課） 〈再質問〉 ●スマートフォンの使い方の講習会の詳細について この取組は、神奈川県と連携し、With コロナ時代におけるコミュニティ活動を推進するため、通信事業者を講師としてスマートフォンの使い方の体験セミナーを実施するもので、高齢者を始めとするスマートフォンに興味があるけどよくわからない方などを対象に、その操作方法を学ぶ講座です。 また、防災関連の情報収集や市のラインの紹介なども予定しており、スマートフォンを活用することにより、生活をより豊かにしていただけるような講習会にしたいと考えています。なお、講習会は、来年 3 月上旬頃に市内 4 カ所の公民館で開催する準備を進めています。

3	大山 学 議員 (1日目6番)	発言の主題：2 児童の身体活動について (1) 子どもの体力の現状（教育指導課） 本市における子どもの体力の現状把握については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を活用しております。 新体力テストについては、体力合計点の過去5年間の傾向につきましては、年度ごとに多小の増減はいたしますが、概ね数値は上向きとなっており全国平均と同程度となっております。 運動習慣・生活習慣等に関する調査につきましては、「運動が好き」、「運動は大切だ」と回答している割合は、全国と比較して小中学校ともにやや高い傾向にあり、運動に親しみを持つ児童生徒が多い現状となっております。 (2) 課題解決に向けた取組（教育指導課） 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析については、市内小中学校へ情報提供をする等、各学校における取組の支援に努めております。 各校においては、体育科の授業の他にも運動に対する楽しさを実感できるような取組も進めています。実践例として、児童生徒が主体となり運動遊びを行う集会を実施したりする等、各校の実情に応じた取組を行っております。 また、児童生徒の体力・運動能力の向上や運動習慣の確立、生活習慣の改善を図るためには、学校と家庭が連携・協力して取り組む必要があることから、今後も、子どもの体力の現状把握を図るとともに、各学校及び家庭と連携し、子ども達の心身の健康の保持増進に資する取組に努めてまいります。 <再質問> ●子ども達の身体機能や骨格筋量の確認について (教育指導課) 新体力テストや健康診断の結果等を活用し、養護教諭や食育担当教諭、関係機関とも連携を図りながら、現状把握や課題解決に向けた取組に努めてまいりたいと思います。 ●身体活動の調査について（教育指導課） 児童生徒における身体活動については、現在のところ活動量計を用いての調査は行っておりませんが、学校では「運動習慣・生活習慣等についての調査」等を活用し、「体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをどのくらいの時間しているか」といった項目等の結果を活用し、児童生徒の身体活動についての把握に努めています。
---	----------------------------	---

4	相馬 欣行 議員 (2日目3番)	発言の主題：1 電子媒体を活用したオンライン化の推進について (3) <u>学校に整備した一人一台端末の実践活用</u> (教育指導課) 各校における実践例としては、算数科の問題の解き方を端末の画面上で共有することで個々の学習を深めるヒントにしたり、ドリルソフトを活用して基礎的な学習内容の定着を図ったりするなど、各校において適宜活用を図っているところです。 また、外国語科の学習において、各児童がそれぞれ英語のスピーチを録画し、端末上で発表活動を行った実践例もありました。自分の発音や発表の様子を画面上ですぐに確認することができるので、納得するまで何度も練習することができ技能面での向上が図られたことや、教職員においても動画を見返すことができるので、個々の学習の状況を的確に把握することができ、学習評価の面でも、大いに効果があったということでした。 今後も児童生徒の学力向上に向けた活用の仕方について研究を進めてまいります。 <再質問> ●<u>オンライン授業のための整備について</u> (教育指導課) 一人一台端末については、まずは学校での活用を図ることを前提に取り組んでおりますが、長期の臨時休業等の様々な事態に備え、家庭のWi-Fi環境の調査やインターネット接続の設定やテストを行っております。 実際に教員がオンラインで授業を配信することについては、操作マニュアルを教職員用ネットワーク上に掲載する等の準備はしておりますが、実際の配信については実践や研究をさらに積み重ねる必要があると考えております。 このようなことから、緊急時等の端末の家庭の利用については、状況に応じて、ドリルアプリや課題をオンライン上で提示提出ができるアプリ等を活用しながら、朝の学級活動から配信を行っていくなど、段階的かつ複合的に実施していくことで、様々な状況においても円滑に対応が図られるようになると考えております。 ●<u>出欠可否判断の見直しについて</u> (教育指導課) 不登校の理由や状況については児童生徒それぞれに状況が異なっており多様であることから、出欠席の取扱いについては本人の心情に寄り添い、保護者と学校との間で十分に連携・協力関係を築いていく中で、適切に判断されているものと考えております。 登校できない児童生徒への端末利用については、支援の一つとしてICTならではの効果もあると考えますが、まずはその学習内容が円滑に学校への登校に結びつく活動であり、児童生徒の自立を助けるうえで有効・適切であるかということが大切であると考えます。
---	---------------------	--

発言の主題：1 新型コロナウイルス感染症対策について

(2) 感染防止のための検査拡大について (学校教育課)

新型コロナウイルス感染症のクラスターの大規模化や医療のひっ迫を防ぐ観点から、小中学校に対して、同感染症に関する抗原定性検査を迅速かつ簡易に実施するための抗原簡易キットを政府が配布することとし、本市には380人分が配布されます。

簡易キットは、医療機関を直ちに受診できない場合等に教職員が使用することが想定されています。

医療従事者が常駐していない学校では、厚生労働省のWEB教材を学習した者が立ち合いの上、被検者自らが鼻腔検体採取します。

陽性の場合、医療機関を受診の上、感染性がないとされ、かつ症状が軽快するまで療養を行い、陰性の場合でも、医療機関の受診又は症状が軽快するまでは自宅待機する等感染が拡大しないようにします。

通知では、小学校4年生以上の児童生徒が、保護者及び本人の同意を得て、教職員の立会いのもとで児童生徒が自ら採取することにより簡易キットを使用できますが、事前に保護者に承認を得なければならないこと、また、通知でも、すぐに帰宅することが困難な場合や医療機関を直ちに受診できない場合等における補完的な対応としていることから、児童生徒への使用は極めて限定的と考えています。

また、この簡易キットとは別に、県が12歳未満の児童を対象に、学校を通じて抗原検査キットを配布します。

配布される検査キットは児童1人当たり2セットで、児童や同居家族に発熱等の風邪の症状がみられた際に、自宅で検査できます。

(4) 学校や保育施設等での対策について (教育指導課)

教室の換気につきましては、常時換気を基本とし、こまめな換気に十分に配慮しております。

マスクの着用については、正しい方法で着用することについて感染防止対策と熱中症対策の両面に配慮をしながら指導を行っております。また家庭へは、学校便りや保健便り等を通してマスクの正しい着用の仕方や材質等について、文部科学省の通知や内閣官房のホームページの内容等を参考に各校の実情に応じて周知を図っております。

9月1日からの登校の仕方については、小中学校ともに午前日課とし、小学校では給食の提供を必要とする児童も多いと思われることから給食後に下校といたしました。給食についても感染リスクを極力低減するよう児童も教職員も十分に留意をして実施しております。

感染の不安等により保護者から学校を休ませたいと相談があった場合には、原則欠席扱いにはせず、校長の判断の下、出席停止等の対応をしております。オンライン授業等の取組については、家庭へのWi-Fi環境の調査を行い、今後の様々な事態に備え順次端末を持ち帰って実際に家庭での接続テストを行っております。

		今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための長期の臨時休業等の様々な事態が生じた場合であっても、児童生徒それぞれの状況に応じた学力向上の実現に向け、各校の状況や実態に応じた効果的な取組に努めてまいります
--	--	---

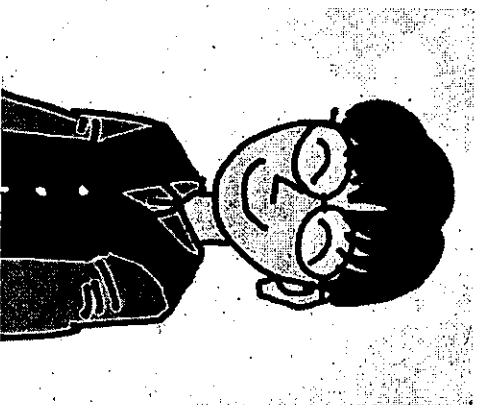
令和3年度

神奈川県市町村教育委員会連合会研修会

- 1 日時 令和3年10月21日(木) 14:00～16:00
- 2 開催方法 ZOOM ミーティングによるオンライン研修
- 3 日程
13:30～13:55 ログイン
14:00～14:10 開会、挨拶
(逗子市教育長職務代理者、逗子市教育長)
14:10～15:55 講演、質疑応答
15:55～16:00 閉会(箱根町教育長職務代理者)
- 4 講師 教育研究家
合同会社ライフ&ワーク 代表
NPO法人まちと学校のみらい 理事
学校・行政向けアドバイザー
妹尾^{せのお} 昌俊^{まさとし} 氏
- 5 演題 『コロナ危機下での学校と教育行政の役割を見つめなおす』

令和3年度神奈川県市町村教育委員会連合会研修会

コロナ危機下での学校と教育行政の 役割を見つめなおす



2021年10月21日

妹尾 昌俊

教育研究家

合同会社ライフ&ワーク 代表

NPO法人まちと学校のみらい 理事

senoom879@gmail.com

<https://senoom.jimdofree.com/>